



Title	デンマーク語・文学協会（DSL）とコペンハーゲン大学創立400周年記念デンマーク語協会（UjDS）について
Author(s)	新谷, 俊裕
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2013, 20, p. 99-118
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/95526
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

デンマーク語・文学協会 (DSL) とコペンハーゲン大学 創立 400 周年記念デンマーク語協会 (UjDS) について

新谷 俊裕

1. はじめに

デンマーク語に関する情報の収集・管理・公開というキーワードでまず思い浮かべることができるのは、デンマーク国立国語審議会・研究所 (Dansk Sprognævn: DSN)¹ とデンマーク語・文学協会 (Det Danske Sprog- og Litteraturselskab: DSL)² とコペンハーゲン大学創立 400 周年記念デンマーク語協会 (Universitets-Jubilæets danske Samfund: UjDS)³ の 3 機関である。

DSN と DSL は共にデンマーク文化省 (Kulturministeriet) の下にある機関で、2007 年から協同で、sproget.dk というデンマーク語に関するサイトを運営している。⁴ 同サイトは、デンマーク国民でデンマーク語に関心を持つ一般の人およびジャーナリスト、校正を生業とする人、秘書などのデンマーク語を職業的に用いている専門家の両者を対象にしている。⁵

DSN には筆者は 1997 年 5 月から 1998 年 2 月まで客員研究員として滞在し、その活動状況を表面的にはあるが観察する機会があったが、同機関については本誌本号 (本報告書) の別の頁で大辺氏による報告があるので、そちらを参照されたい。したがって、本報告書では筆者は DSL と UjDS について報告することにする。なお、本研究における筆者の担当はデンマーク語学に関するものであるが、報告対象である DSL と UjDS の両者ともにデンマーク語とデンマーク文学の両方を扱っているので、本報告も両分野にまたがるものとなる。

¹ Sprognævnet の通称で知られているこの機関 (DSN と略記される) は、その名称 -nævn を直訳すると「審議会」となるが、現在では研究および情報提供機関としても機能しており、実態に近い「…審議会・研究所」という日本語訳を旧大阪外国語大学・現大阪大学デンマーク語研究室は以前から提案してきている。

² DSL と略記される。

³ Universitets-Jubilæets danske Samfund (UjDS とロゴ的に略記される) を直訳すると、「大学創立記念デンマーク語協会」となるが、日本人読者にその実態が分かりやすくなるように「コペンハーゲン大学創立 400 周年記念デンマーク語協会」の訳語を提案する。この機関は 1879 年のコペンハーゲン大学創立 400 周年の際に設立されたために Universitets-Jubilæets という名称が付けられているが、当時コペンハーゲン大学がデンマーク唯一の大学であった。

⁴ <http://www.dsn.dk/sproghjaelp/sproget.dk>
<http://sproget.dk/om-sproget-dk>

⁵ <http://sproget.dk/om-sproget-dk>

2. デンマーク語・文学協会 (Det Danske Sprog- og Litteraturselskab: DSL)

DSL は最も古い時代から今日に至るまでのデンマーク語とデンマーク文学に関する文献を書籍形態およびネット上で発行している。¹

DSL は 1911 年に Lis Jacobsen² と Carl S. Petersen³ によって設立され、文化省とカールスベア財団 (Carlsbergfondet) ならびに他の多数の基金から補助を受けて運営されている。⁴

2.1. DSL の目的

DSL の目的とするところは次の通りである。⁵

- 新旧時代のデンマークの言語的ならびに文学的著作の新たな出版
- 文献目録の出版
- 学問に基づく辞典の出版
- 電子的言語資源、特に例えば辞典の基盤としてのテキストコーパスの構築
- 1450 年までのデンマーク史の諸文献の新たな出版

2.2. DSL の活動⁶

DSL は 200 以上の書籍を出版してきており、その総巻数は 800 を超えている。例えば、Tycho Brahe⁷, Arrebo⁸, Kingo⁹, Ewald¹⁰, Blicher¹¹, J.P. Jacobsen¹² や Sophus Claussen¹³ などの著作集、Niels Stensen¹⁴, Oehlenschläger¹⁵, H.C. Andersen (アンデルセン), Georg Brandes¹⁶ や Nexø¹⁷などの書簡集、H.C. Andersen や Grundtvig¹⁸ な

¹ <http://dsl.dk/om-dsl>

² Elisabeth Jacobsen (1882-1962): 北欧語文献学者。

³ Carl Sophus Petersen (1873-1958): デンマークの司書および文学史研究者。

⁴ <http://dsl.dk/om-dsl>

⁵ *ibid.*

⁶ *ibid.*

⁷ Thyge Ottesen Brahe (1546-1601): デンマークの天文学者。

⁸ Anders Christensen Arrebo (1587-1637): デンマークの詩人。

⁹ Thomas Hansen Kingo (1634-1703): デンマークの讃美歌詩人。

¹⁰ Johannes Ewald (1743-1781): デンマークの詩人・劇作家。

¹¹ Steen Steensen Blicher (1782-1848): デンマークの牧師・作家。

¹² Jens Peter Jacobsen (1847-1885): デンマークの作家。

¹³ Sophus Niels Christen Claussen (1865-1931): デンマークの作家。

¹⁴ Niels Stensen (1638-1686): またの名を Nicolaus Steno. デンマークの解剖学者・地質学者。

¹⁵ Adam Gottlob Oehlenschläger (1779-1850): デンマークの詩人・劇作家。

¹⁶ Georg Morris Cohen Brandes (1842-1927): デンマークの批評家・文筆家。

¹⁷ Martin Andersen Nexø (1869-1954): デンマークの作家。

¹⁸ Nikolai Frederik Severin Grundtvig (1783-1872): デンマークの作家・神学者・詩人・哲学者・歴史家・牧師。フォルケホイスコーレの提唱者としても知られている。

どの日記などを挙げるができる。また、地方法、ことわざ集や中世の言語哲学の全集を出版してきている。

1986 年以降、DSL は 17 世紀から 20 世紀のデンマーク文学を収めた「デンマークの古典作品群」Danske Klassikere シリーズを発行してきた。『デンマーク古文書集』*Diplomatarium Danicum* と『デンマーク王国の書簡集』*Danmarks Riges Breve* では中世デンマークの文献が翻訳・出版されている。また、王立図書館 (Det Kongelige Bibliotek) と協同で『デンマーク文学論叢』*Arkiv for Dansk Litteratur*¹ も出版している。

言語関連としては、DSL は例えば、全 28 巻+補巻からなる『デンマーク語大辞典』*Ordbog over det danske Sprog* 1-28 og et supplement や『ホルベア辞典』*Holberg-Ordbog* 1-5 を編纂している。また、『中世デンマーク語辞典』*Gammeldansk Ordbog* は現在編纂中である。2003 年から 2005 年にかけて、全 6 巻で出版された『現代デンマーク語大辞典』*Den Danske Ordbog* は現代のデンマーク語を反映しており、コーパスを基に編纂されたものである。この経験を基に 2 つのコーパス、Parole-korpusset と Korpus 2000 が構築されたが、前者はより大きな EU プロジェクトの一環であり、後者は 2000 年前後のデンマーク語を反映している。

2.3. DSL がインターネット上で公開している著作あるいはサイト²

DSL は下記の 14 のサイトをネットで公開している。

- 『デンマーク文学論叢』*Arkiv for Dansk Litteratur*
- 『デンマーク古文書集』*Diplomatarium Danicum*
- 『現代デンマーク語大辞典』*Den Danske Ordbog*
- 『中世デンマーク語カードコレクション』*Gammeldansk Seddelsamling*
- 『ホルベア辞典』*Holbergordbogen*
- 『ルズヴィ・ホルベア著作集』*Ludvig Holbergs Skrifter*
- アイスランド語 - デンマーク語・ノルウェー語・スウェーデン語辞典 ISLEX
- デンマーク語コーパス KorpusDK
- 『古代および中世文学』*Oldtidens og middelalderens litteratur*
- 『デンマーク語大辞典』*Ordbog over det danske Sprog*
- 将来、古典作品となりうる作品群 Potentielle Klassikere
- デンマークにおけるルネサンスの言語 Renæssancens sprog i Danmark
- デンマーク語言語サイト sproget.dk
- ネットで学ぶ中世 Studér Middelalder på Nettet

¹ www.adl.dk

² <http://dsl.dk/om-dsl>

2.3.1. 『デンマーク文学論叢』 *Arkiv for Dansk Litteratur*¹

Arkiv for Dansk Litteratur は古典デンマーク文学のウェブサイトである。1100 年代の Saxo² から 1938 年の Gustaf Munch-Petersen³ までの全時代が対象となっており、各作家の作品と専門家による解説がある。デンマークでは 70 年間著作権が保護されているので、*Arkiv for Dansk Litteratur* は原則として当該作家の没 70 年後に当該作家を取り上げることにしている。王立図書館 (Det Kongelige Bibliotek) と DSL はデンマーク人古典作品電子叢書の構築のために 78 人の作家を選出している。

2.3.2. 『デンマーク古文書集』 *Diplomatarium Danicum*⁴

Diplomatarium Danicum とは、カールスベア財団 (Carlsbergfondet) が資金提供をして、1932 年から始まったプロジェクトで、中世にデンマークで発行された古文書や他国で発行された、デンマークに関わる古文書を出版することを目的としている。古文書は主にラテン語、低地ドイツ語、デンマーク語で書かれており、デンマーク語が地位を獲得するのは 1400 年以降のことである。これらすべての文書は現代デンマーク語に翻訳されている。

現在までに、789 年から 1412 年までの 18,000 を超える文書を出版してきている。編集部はさらに 1413 年から 1450 年までの古文書を出版すべく作業を進めている。書籍形態としては出版社 C.A. Reitzels forlag から 789 年から 1400 年までの文書を出版している。電子出版では 1401 年から 1412 年の文書を対象としており、無料でアクセスできる。

2.3.3. 『現代デンマーク大語辞典』 *Den Danske Ordbog*

Den Danske Ordbog (DDO) は約 1995 年から今日に至るまでの現代デンマーク語の語彙を記述しており、各語の綴り、変化形、発音、語源、意味、用法を載せている。この辞典はテキストコーパスを基にして構築されており、データは絶え間なく更新されている。⁵

DDO は書籍としては 2003 年から 2005 年にかけて Gyldendal 社から全 6 巻で出版された大部の辞典であり、現在購入すると、送料他諸経費を加えると軽く 3 万円は

¹ http://adl.dk/adl_pub/forside/cv/forside.xsql?nnoc=adl_pub
http://adl.dk/adl_pub/omadl/cv/OmAdl.xsql?nnoc=adl_pub

² Saxo Grammaticus (約 1160 年–1208 年以降)：デンマークの文筆家・歴史家。Gesta Danorum 『デンマーク人の事績』の執筆で知られる (Cf. 邦訳：谷口幸男、1993 年、『デンマーク人の事績』、東海大学出版会)。

³ Gustaf Munch-Petersen (1912–1938)：デンマークの作家・画家。

⁴ <http://diplomatarium.dk/>

⁵ <http://ordnet.dk/ddo/>

超えるものである。しかしながら DSL はこの DDO を無料で公開している。大阪大学外国語学部デンマーク語専攻の学生は 2 年生ころから使い始め、3 年生では非常に頻繁に使っているようである。DDO へのリンクは大阪大学外国語学部デンマーク語専攻のホームページでも紹介しているので、大いに利用することを勧める。¹

2.3.4. 『中世デンマーク語カードコレクション』 *Gammeldansk Seddelsamling*²

Gammeldansk Seddelsamling は『中世デンマーク語辞典』*Gammeldansk Ordbog* の基盤となる重要な道具であり、中世デンマーク語のあらゆるジャンルの引用を記したカード、約 950,000 枚からなる。見出し語数は約 30,000 である。

2.3.5. 『ホルベア辞典』*Holbergordbogen*³

『ホルベア辞典』*Holbergordbogen* は、Aage Hansen⁴ と Sv. Eegholm-Pedersen⁵ の編集のもと、1981 年から 1988 年にかけて、全 5 巻で出版された辞典の電子版である。

2.3.6. 『ルズヴィ・ホルベア著作集』*Ludvig Holbergs Skrifter*⁶

ルズヴィ・ホルベア (Ludvig Holberg: 1684-1754) はスカンジナビア啓蒙時代の中心人物である。ホルベアの膨大かつ広範囲におよぶ著作はデンマーク文学ならびにノルウェー文学の中心を占めている。『ルズヴィ・ホルベア著作集』*Ludvig Holbergs Skrifter* (LHS) はホルベア作品の本文批判および注釈つきバージョンであり、ベルゲン大学 (ノルウェー) と DSL によって協同出版されるが、現在のものはベータ版 (試用版) であり、完成版は 2015 年が予定されている。

2.3.7. アイスランド語 - デンマーク語・ノルウェー語・スウェーデン語辞典 ISLEX⁷

ISLEX はアイスランド語からデンマーク語、ノルウェー語 (bokmål および nynorsk)、スウェーデン語への多言語辞典である。ISLEX はアイスランド、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンの 4 機関が協同で進めるプロジェクトで、2011 年からフェローも加わった。アイスランド語 - フェロー語辞典は 2013 年に開設予定である。データは絶え間なく更新されている。

¹ <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/danish/dictionary.html>

² <http://gammeldanskordbog.dk/>

³ <http://holbergordbog.dk>
<http://holbergordbog.dk/om-ordbogen>

⁴ Aage Kristian Hansen (1894-1983): 北欧語文献学者。

⁵ Svend Eegholm Pedersen (1929-): ホルベア研究家。1988 年にホルベア・メダルを受賞。

⁶ <http://holbergsskrifter.dk/xtf-public/view?docId=adm/main.xml&lang=dk>

⁷ <http://islex.dk/>

2.3.8. デンマーク語コーパス KorpusDK

KorpusDK は 5600 万語からなる多数のテキストを収めたデンマーク語コーパスで、言語使用の調査に有効である。テキストは言語調査のための使用を念頭に処理されている。これにより、特定の表現の例を正確に探すことができるようになっている。¹

筆者も KorpusDK をよく利用するが、非常に便利な、お勧めのコーパスである。

2.3.9. 『古代および中世文学』 *Oldtidens og middelalderens litteratur*²

古代および中世の文学遺産はこの 500 年間あまりの間にノルウェー語やスウェーデン語やデンマーク語の翻訳で北欧に紹介されてきた。この膨大な翻訳活動はそれ自体が北欧の文化遺産である。文献学者や歴史家や作家などが時代を通して膨大な時間を費やして古いテキストの内容を同時代の言語に解釈・再現してきた。

『北欧語翻訳による古代および中世文学』 *Oldtidens og middelalderens litteratur – i skandinaviske oversættelser* はこの北欧の長く豊かなテキスト伝統に人々の注目を集めることを目的としている。同サイトでは、1500 年以前のどのテキストが 1500 年から現在に至るまでのノルウェー語、スウェーデン語、デンマーク語の翻訳として存在するのかを調べることができる。

2.3.10. 『デンマーク語大辞典』 *Ordbog over det danske Sprog*³

『デンマーク語大辞典』 *Ordbog over det danske Sprog* (ODS) は 1700 年から 1950 年までのデンマーク語を扱った、全 28 巻＋補巻 5 巻からなる歴史的辞典である。同辞典の見出し語数は 225,000 語であり、このうち 35,000 語が補巻⁴ に収められている。全 28 巻は 1919 年から 1956 年にかけて出版され、補巻 5 巻は 1992 年から 2005 年にかけて出版された。ODS の 28 巻は 2005 年 11 月以来、ネット上で無料閲覧できるようになった。⁵

ODS の電子版の構築には、スウェーデンの SAOB⁶とドイツの Grimm の辞典の経験が参考になっている。SAOB では電子版構築にスキャン機器を使ったにも関わらず、誤りがありにも多すぎて校正に時間がかかったために、完成まで 15 年を要した。一方、Grimm の辞典では中国の会社の中国人の専門家が 2 チームに

¹ <http://ordnet.dk/korpusdk>

² <http://skandinaviske-oversaettelser.net/>

³ <http://ordnet.dk/ods/>

⁴ <http://ordnet.dk/ods/fakta-om-ods/supplementsbind>

⁵ <http://da.wikipedia.org/wiki/ODS>

⁶ SAOB については本誌本号の清水氏の報告を参照のこと、pp. 184f.

分かれて同じテキストを入力し、結果を突き合わせて入力ミスを修正するという手法を取った結果、入力ミスが少なく短い時間で辞典が完成した。DSL は ODS の電子版構築にドイツ方式を採用した結果、デンマーク語をまったく知らない 20 人の中国人専門家が 2 チームに分かれて作業した結果、入力作業は約 9 カ月で終わり、入力費用も約 80 万クローネであったという。¹

ODS は現在、書籍で購入すると 15 万円は超える高価なものであるが、電子版は無料で閲覧できる。内容は決して易しくはないが、デンマーク語学、デンマーク文学やデンマークの歴史の研究には不可欠なものである。ODS は 1 巻 1 巻が分厚いのでコピーするのも不便であるし、スキャンにも適さない。その点、電子版はコピーする代わりに印刷もできるし、テキストを WORD 文書等に貼り付けて自分のテキストとして使うことも容易である。

2.3.11. 将来、古典作品となりうる作品群 *Potentielle Klassikere*²

プロジェクト「将来、古典作品となりうる作品群」“*Potentielle Klassikere*” は目下のところ、1975 年以降にデビューして、少なくとも 3 冊の著作の出版を経験している 30 名のデンマーク人純文学³ 作家を扱っている。

それぞれの作家の代表的な詩・短編小説・長編小説の抜粋など、約 15-20 頁が掲載されているほか、当該作家やその著作活動に関する他のウェブサイトへのリンクも張られている。

同プロジェクトは『デンマーク文学叢書』*Arkiv for Dansk Litteratur* を拡張したものと考えることができる。

なお、同サイトに上げられているテキストも当然のことながら著作権保護の対象である。

2.3.12. デンマーク語言語サイト *sproget.dk*⁴

sproget.dk はデンマーク語に関するあらゆる事柄を検索するサイトである。同サイトは「ニュース」*nyheder*, 「アドバイスと規則」*råd og regler*, 「テーマ」*temaer*, 「遊んで、学べ!」*leg og lær* のページがあり、デンマーク語の文法、綴り、言語政策等に関する質問の回答を得ることができる。また、自分のデンマーク語に関する知識を試したり、言葉遊びをしたりして楽しむこともできる。

¹ http://www.svenska.gu.se/digitalAssets/1270/1270341_ods.pdf
<http://da.wikipedia.org/wiki/ODS>

² <http://potentielleklassikere.dk/>

³ デンマーク語でいう *skønlitteratur* とは歴史・哲学などを含む広い意味での文学に対する語としての、広義の純文学のことである。

⁴ <http://sproget.dk/>

2. 3. 13. デンマークにおけるルネサンスの言語 *Renæssancens sprog i Danmark*¹

デンマークにおけるルネサンスの言語 *Renæssancens sprog i Danmark* は 1500 年から 1700 年までのデンマーク語とラテン語に関するウェブ上の辞典ならびにテキストのデータベースである。デンマーク語あるいはラテン語の単語をそれぞれの時代の辞典に入力し、多様なテキストにおける当該単語の用法を調べることができる。

2. 3. 14. ネットで学ぶ中世 *Studér Middelalder på Nettet*²

「ネットで学ぶ中世」*Studér Middelalder på Nettet* のウェブサイトでは中世のデンマーク語の主要テキストが解説されている。

同サイトの目的は、第一に、利用可能な版として印刷されていない、そして、しばしば遠くにある古文書館に保存されていて利用が困難であるという理由から、ふつうはなかなか目にするのでできない中世のテキストを、研究者、学生、一般人が読み、研究することを可能にすることである。第二に、中世デンマーク語のテキスト研究のために関連する辞書項目を近代的で容易に利用できる方法で提供することである。第三に、中心的テキストに関して言うならば、現代文字に字訳したテキストバージョンにオリジナルテキストのファクシミリ複写版および現代デンマーク語訳を添えることで、中世のデンマーク語、歴史、文学、思考世界の知識を広めることである。第四に、同プロジェクトはいずれ統合システムの一部となり、ここから DSL の他の辞典類や資料を参照できるようにすることである。具体的には、*Diplomatarium Danicum*, *Ordbog over det danske Sprog*, *Den Danske Ordbog*, *KorpusDK* などがその対象となるであろう。³

このサイトでは、高校レベルや大学レベルの授業で用いることのできる材料や研究のための情報や、歴史と文学に関心のある者が没頭できるテキストなどが用意されている。テキストのテーマは広範に及び、中世の法律解釈、医術、教育、歴史記述、地理的イメージ、詩作、宗教性、人生観などをカバーしている。

3. コペンハーゲン大学創立 400 周年記念デンマーク語協会

(Universitets-Jubilæets danske Samfund: UjDS)⁴

コペンハーゲン大学創立 400 周年記念デンマーク語協会 (Universitets-Jubilæets

¹ <http://xn--renssancesprog-2ib.dk/>

² <http://studermiddelalder.dk/index.php?side=Introduktion&compact=-1>

³ <http://studermiddelalder.dk/index.php?side=Projektbeskrivelse&compact=-1>

⁴ <http://ujds.dk/>

<http://ujds.dk/mereom.php>

danske Samfund: UjDS) はデンマーク語研究に関わるテキストおよび論文を出版する協会である。

Universitets-Jubilæets danske Samfund という長いデンマーク語の名称は、コペンハーゲン大学が創立 400 周年を迎えた 1879 年に祖国を愛する有志たちが (英国からの移民一名を先頭に) デンマーク語の学問研究を強化・調整することを決意したことに由来する。デンマーク語の名称を日本語に直訳すると「大学創立デンマーク語協会」となるが、「大学創立」の部分が、少なくとも日本人には意味不明であるので、理解しやすいように「コペンハーゲン大学創立 400 周年記念デンマーク語協会」という訳語を提案する。有志たちは時代精神にのっとり、広く公的かつ私的援助を得て協会を設立した。彼らが発した質問「あなたは私たちのデンマーク語が 10 万デアラ¹ に値すると思いませんか？」“Mener De ikke, at vort danske sprog er 100.000 Daler værd?” に「ノー」と言うことは難しかったのである。

UjDS は 1879 年の設立以来の 100 年強の間に 500 を超える出版物を世に送り出してきた。そのうちの多くのものが現在も購入可能である。その出版物は様々な辞典類、文学作品、学術論文、そして年 1 回発行の学術雑誌『デンマーク語研究』*Danske Studier* である。

協会の運営資金は公的かつ私的援助、出版物による収入のほか、会員の年会費による。年会費は、現在、わずか 200 クローネで、年 1 回発行の *Danske Studier* が無料で送られてくる。また、UjDS のすべての出版物を 25% 引きで購入できるという会員特典もある。筆者も 2 年前まで会員として *Danske Studier* を入手していたが、デンマークからの郵送費の上昇、日本の郵便局からの送金代金の上昇、さらに日本の郵便局からデンマークにはクローネでは送れなくなり、ユーロでしか送れなくなるなど様々な障害を感じていたが、2009 年 11 月から *Danske Studier* が電子化され、ネット上で無料で閲覧できることになったのを契機に退会したのである。

3.1. UjDS の出版物

UjDS の出版物を同協会のカタログ頁² から見てみよう。同頁には以下のカタログが掲載されている。

- 北欧言語研究誌 *Acta Philologica Scandinavica*

¹ daler. デンマークで中世から 1873 年まで用いられた貨幣単位。1873 年のクローネ krone の導入で廃止されたが、1 デアラ = 2 クローネとされ、2 クローネのことを 1 デアラと呼ぶ習慣が現代でもあるそうである。(Den Danske Ordbog: <http://ordnet.dk/ddo/ordbog?query=daler>), (DEN STORE DANSKE Gyldendals åbne encyklopædi: http://www.denstoredanske.dk/Geografi_og_historie/Diverse_historie/M%C3%B8nter/daler)

² <http://ujds.dk/katalog.php>

- デンマーク語およびデンマーク文学に関する論文 *Afhandling om dansk sprog og litteratur*
- デンマーク語方言に関する論文 *Afhandling om danske dialekter*
- 農民文化に関する論文 *Afhandling om landbokulturen*
- UjDS の活動に関する報告 *Beretninger om UJDSs virke*
- 『デンマーク語研究』 *Danske Studier*
- 方言辞典 *Dialektordbøger*
- 民謡 *Folkeviser*
- 辞典 *Ordbøger*
- サガ *Sagaudgaver*
- 1600 年代のデンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra 1600-tallet*
- 1700 年代のデンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra 1700-tallet*
- 中世デンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra middelalderen*
- 宗教改革時代のデンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra reformationstiden*
- UjDS 研究 *UJDS-Studier*
- 語彙集 *Vokabularier*

以下にそれぞれのカatalogの内容を見ていく。

3.1.1. 北欧言語研究誌 *Acta Philologica Scandinavica*¹

Acta Philologica Scandinavica, Tidsskrift for Nordisk Sprogforskning は 1926 年から 1988 まで発行された北欧語研究誌である。24 巻以降の巻は UjDS の管理下であり、同協会において購入可能である。

3.1.2. デンマーク語およびデンマーク文学に関する論文 *Afhandling om dansk sprog og litteratur*²

UjDS は言語史、辞書学、固有名詞学、社会言語学、方言学の分野における多数の母語研究を出版してきている。

- *Anders Sørensen Vedels filologiske arbejder*. af Marita Akhøj Nielsen. Bind: 1-2. 2004. 『Anders Sørensen Vedel の文献学的研究』
- *Aspects of Danish Prosody*. af Jørgen Rischel og Hans Basbøll. 1995.
- *Barneglad og engleklog*. af Randi Rode. 1996. 『子ども好きと天使の賢さ』

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=2>

² <http://ujds.dk/katalog.php?katID=1>

- *De danske Stednavne paa -um.* af Kristian Hald. 1942. 『um に終わるデンマーク語の地名』
- *En dansk Mechtildtradition?* af Britta Olrik Frederiksen. 1984. 『デンマークの Mechtild 伝統?』(中世デンマークの祈りに関する研究)
- *Festskrift til Kristian Hald. Navneforskning. Dialektologi. Sproghistorie.* 1974. 『Kristian Hald 記念論文集. 固有名詞学. 方言学. 言語史』
- *Filologiske Studier i Karl Magnus Krønike.* af Poul Lindegård Hjorth. 1965. 『Karl Magnus 年代記の文献学的研究』
- *Fortællerens rum.* af Birgitte Krejsager. 1995. 『語り手の空間』
- *Infinitiv + skullende.* af Niels Haastrup. 1968. 『不定詞+skullende』
- *Jeg skriver dig til for at lade dig vide.* af Vibeke Sandersen. Bind: 1-2. 2003. 『私は教えてあげるためにあなたに書いています』
- *Leksikologi og Leksikografi.* af Kristen Møller. 1959. 『語彙論と辞書学』
- *Matthias Moth og Ovids Metamorfoser.* af Poul Lindegård Hjorth. 1997. 『Matthias Moth とオウィディウスのメタモルフォーゼ』
- *Mundtlig fortælling.* af Erik Møller. 1993. 『口承』
- *Nominativ i gammelskånsk.* af Eva Skafte Jensen. 2011. 『中世スコーネ方言の主格』
- *Nordiske Artikelproblemer.* af Kristen Møller. 1945. 『北欧語の冠詞問題』
- *Om Karen Blixens Kappen.* af Ulla Albeck. 1981. 『Karen Blixen の Kappen について』
- *Ord, Sprog oc artige Dict. Et overblik og 28 indblik 1500-1700.* *Festskrift til Poul Lindegård Hjorth.* Flemming Lundgreen-Nielsen, Marita Akhøj Nielsen og John Kousgård Sørensen. 1997. 『単語, 言語, 品の良い詩. 1500 年 - 1700 年に関するひとつの概観と 28 の洞察. Poul Lindegård Hjorth 記念論文集』
- *Ordforrådsstudier.* af Kristen Møller. 1950. 『語彙研究』
- *Studier i dansk dialektologi og sproghistorie tilegnede Poul Andersen.* v. Kr. Hald, Chr. Lisse og J. Kousgård Sørensen. 1971. 『デンマーク語方言学とデンマーク語史研究, Poul Andersen にささげる』
- *Studier i sammensatte personnavne.* af Kristen Møller. 1956. 『合成語の人名研究』
- *Studier i talesprogvariation og sprogkontakt.* *Festskrift til Inger Ejekjær.* Bent Jul Nielsen og Inge Lise Pedersen. 1996. 『話し言葉のバリエーションと言語接触. Inger Ejekjær 記念論文集』
- *The Copenhagen Study in Urban Sociolinguistics.* af Frans Gregersen og Inge Lise Pedersen. Bind 1-2. 1991.

- *Tryk på Danske Verber*. af Jann Scheuer. 1995. 『デンマーク語の動詞の強勢』
- *Tænkesedler. 20 fortællinger af fædrelandets litteraturhistorie. Festskrift til Flemming Lundgreen-Nielsen*. Redigeret af Henrik Blicher, Merete K. Jørgensen og Marita Akhøj Nielsen. 2007. 『思考メモ. 祖国の文学史の 20 の物語. Flemming Lundgreen-Nielsen 記念論文集』

3. 1. 3. デンマーク語方言に関する論文 *Afhandlinger om danske dialekter*¹

デンマーク語の方言研究と物質的民衆文化の記述は常に UjDS の活動の中心であった。そして UjDS は以下に見るように多数の方言関連の論文を出版している。

- *Alsisk formlære*. af Hans Jørgensen. 1950. 『Als 方言形態論』
- *Bidrag til Vendelbomålets fonologi*. af Bent Jul Nielsen. Bind: Bind 1. 1984. 『Vendsyssel 方言音韻論への提案』
- *Brenderup-målet*. af H. M. Jensen. 1919 - 1926. 『Brenderup 方言』
- *Brøndum-målet*. af Inger Ejksjær. 1954. 『Brøndum 方言』
- *Danish Dialect Research*. af Inger Ejksjær. 1993.
- *Dialektstudier 1-5*. 1965 - 1988. 『方言研究』
- *Emmerlevdialekten*. af Ella Jensen og Magda Nyberg. 1977. 『Emmerlev 方言』
- *Et Bjerreherredsmål*. af Bent Jul Nielsen. 1968. 『Bjerreherred の一方言』
- *Et Hardsysselmål*. af Peter Skautrup. Bind: Bind II,2. 1979. 『Hardsyssel の一方言』
- *Fonemsystemet i Østfynsk*. af Poul Andersen. 1958. 『東 Fyn 方言の音韻体系』
- *Fonemsystemet i østsjællandssk*. af Inger Ejksjær. 1970. 『東 Sjælland 方言の音韻体系』
- *Hostrup-Dansk I: Lydlære*. af M. B. Ottsen. v. Ella Jensen. 1961. 『Hostrup デンマーク語 I . 音声編』
- *Houlbjergmålet*. af Ella Jensen. 1944. 『Houlbjerg 方言』
- *Houlbjergmålets Bøjningslære*. af Ella Jensen. 1956. 『Houlbjerg 方言形態論』
- *Jyske Studier tilegnede Magda Nyberg og Bent Jul Nielsen*. 1993. 『Jylland 方言研究, Magda Nyberg ならびに Bent Jul Nielsen にささげる』
- *Jyske tekster 1*. 1967. 『Jylland 方言テキスト 1』
- *Jyske tekster 2*. 1971. 『Jylland 方言テキスト 2』
- *K. J. Lyngbys Jyske Grammatik tilligemed et Udvalg af hans Breve*. af K. J. Lyngby v. Anders Bjerrum. 1942. 『K. J. Lyngby の Jylland 方言文法ならびに書簡選集』

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=3>

- *Kortvokalstødet i sjællandsk.* af Inger Ejlskjær. 1967. 『Sjælland 方言の短母音 声門せばめ音』
- *Langelandsk Grammatik.* af L. Gotfredsen. 1955. 『Langeland 方言文法』
- *Lollandsk Grammatik. Radstedmålet.* af B. Christensen og O. Widding. 1936. 『Lolland 方言文法. Radsted 方言』
- *Moderne sjællandsk.* af J. Normann Jørgensen og Kjeld Kristensen. 1994. 『現代 Sjælland 方言』
- *Mundarten i Flemløse Sogn.* af Peder Jacobsen. v. Poul Andersen. 1929 - 1933. 『Flemløse 教区の方言』
- *Musikalsk accent i Rømømålet.* af Gunhild Nielsen. 1959. 『Rømø 方言の音楽的 アクセント』
- *Nordsamsisk bøjningslære.* af Poul Lindegård Hjorth. 1958. 『北 Samsø 方言の 形態論』

3. 1. 4. 農民文化に関する論文 *Afhandlinger om landbokulturen*¹

そして UjDS は以下に見るように、農業や漁業などに関わる村落文化に関する論文を出版している。

- *Agerdyrkningens Behandling på Bornholm.* af J. C. Urne. v. Aage Rohmann. 1964. 『Bornholm における農耕の扱い』
- *Danske Ålegårde og andre Fiskegårde.* af Kristen Møller. 1953. 『デンマークの ウナギ用鰯(えり)ならびにその他の魚種用の鰯』
- *Højtide og Gæstebud.* af Anna Pedersen. Optegnelser fra Stevns og Bjæverskov Herreder. 1960. 『祝祭日と饗宴』(Stevns Herred と Bjæverskov Herred の記録)
- *Kås og Brygge.* af Kristen Møller. 1968. 『小型船舶用の原始的な船着場 (kås) と埠頭 (brygge)』
- *Svineegel. En østdansk stald.* af Kristen Møller. 1974. 『豚小屋 (svineegel). 東デンマーク語における豚小屋』
- *Træk af nordfynsk Landsbyliv.* af Jens Christensen. v. Poul Andersen. 1958. 『北 Fyn の村落生活の特徴』

3. 1. 5. UjDS の活動に関する報告 *Beretninger om UjDSs virke*²

- *Universitets-Jubilæets danske Samfund 100 År. Illustreret Beretning.* v. Marie

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=4>

² <http://ujds.dk/katalog.php?katID=5>

- Bjerrum, Poul Andersen og Jørgen Larsen. 1979. 『UjDS の 100 年. 挿絵入り報告』
- *Universitets-Jubilæets danske Samfund 1879 - 1929. Beretning.* v. Dines Andersen. 1929. 『UjDS. 1879 年 - 1929 年. 報告』
 - *Universitets-Jubilæets danske Samfund 80 År. Beretning 1930 - 1960.* v. Poul Andersen. 1961. 『UjDS の 80 年. 1930 年 - 1960 年. 報告』

3. 1. 6. 『デンマーク語研究』 *Danske Studier*¹

年 1 回発行の学術雑誌『デンマーク語研究』*Danske Studier* は 1904 年以来出版されてきており、デンマーク語およびデンマーク文学に関わるあらゆるテーマの論文を掲載しており、専門書の詳細な書評はこの専門分野の発展をフォローするための比類のない可能性を提供している。『デンマーク語研究』は UjDS の会員には無料で送付される。

同誌は – *tidsskrift for dansk sprog, litteratur og folkeminder* 『– デンマーク語・文学・民俗学のための学術誌』という誌名の副タイトルからうかがえるように、1904 年の創刊当初は民俗学の論文も収めていた。² これは同誌が民衆と研究者との間のかけ橋となるためであったが、次第に民俗学は扱われなくなり、デンマーク語研究ならびにデンマーク文学研究の中心的手段となっていくた。³

3. 1. 7. 方言辞典 *Dialektordbøger*⁴

- *Hostrup-Dansk II: Ordbog.* Bind 1-5. af M. B. Ottsen. v. Ella Jensen og Magda Nyberg. 1963 - 1969. 『Hostrup デンマーク語 II. 辞典』
- *Langelandsk Ordbog.* Bind 1-3. af L. Gotfredsen. 1972 - 1974. 『Langeland 方言辞典』
- *Ordbog over den danske dialekt i Angel.* af Bent Jul Nielsen og Magda Nyberg. 1995. 『Angel のデンマーク語方言辞典』
- *Ordbog over Fjoldemålet.* Bind 1-2. af Marie og Anders Bjerrum. 1974. 『Fjorde 方言辞典』
- *Ømålsordbogen* 1-10. 1992 - 2010. 『島嶼方言辞典』

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=6>

² <http://danskstudier.dk/>

³ http://www.denstoredanske.dk/Kunst_og_kultur/Litteratur/Tidsskrifter/Danske_Studier

⁴ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=7>

3.1.8. 民謡 **Folkeviser**¹

- *Anders Sørensen Vedels Hundredviser*. v. Karen Thuesen. 1993. 『Anders Sørensen Vedel の民謡 100 選』
- *Danmarks gamle Folkeviser*. Bind 1-12. v. Sv. Grundtvig, Axel Olrik, H. Grüner-Nielsen, E. 1966 - 1976. 『デンマークの古い民謡』
- *Føroya kvæði*. bind VII. v. Michael Chesnutt, Kaj Larsen og Iver Kjær. 1996. 『フェーロー諸島の歌』
- *Føroya kvæði*. Supplementum, bind VIII, Løgini/Melodies Marianne Clausen. 2003. 『フェーロー諸島の歌』 補巻. 第VIII巻.
- *Tragica (1657)*. v. Ebba Hjorth og Marita Akhøj Nielsen. 1994. 『Tragica (1657 年)』 (デンマークで2番目に古い民謡集)
- *Visuløg í Føroyum. Danish Folk Ballads in the Faroes*. Marianne Clausen.

3.1.9. 辞典 **Ordbøger**²

- *Ordbog til det ældre danske Sprog (1300 - 1700)*. Bind 1-6. af Otto Kalkar. (1881 - 1918) 1976. 『古デンマーク語辞典』
- *Otto Kalkar og hans ordbog*. af Marie Bjerrum. 1976. 『Otto Kalkar と彼の辞典』
- *Svabos glossar til færøske visehaandskrifter*. v. Chr. Matras. 1943. 『Svabo のフェーロー諸島民謡写本のための語彙集』

3.1.10. サガ **Sagaudgaver**³

- *Bandamanna saga*. v. Hallvard Mageröy. 1956 - 1976.
- *Hákonar saga Ívarssonar*. v. Jón Helgason og Jakob Benediktsson. 1952.
- *Hallfredar saga*. v. Bjarni Einarsson. 1953.
- *Håndskriftet AM 455c, I, 4to*. v. Jón Helgason. 1956. 『写本 AM 455c, I, 4to』
- *Samsons saga fagra*. v. John Wilson. 1953.
- *Valla-Ljóts saga*. v. Jónas Kristjánsson. 1952.
- *Veraldar saga*. v. Jakob Benediktsson. 1944.

3.1.11. 1600 年代のデンマーク文学作品 **Udgaver af dansk litteratur fra 1600-tallet**⁴

- *Danske Metrikere*. Bind 1-2. v. Arthur Arnholtz, Erik Dal og Aage Kabell. 1953 -

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=8>

² <http://ujds.dk/katalog.php?katID=9>

³ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=10>

⁴ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=11>

1960. 『デンマークの韻律学者たち』

- *De gamle Vijses Exempler oc Hoffsprock (1618)*. af Christian Nielssen. v. Laurits Bødker. 1951 - 1953. 『古民謡の例と宮廷言語 (1618 年)』
- *Forvandlingerne*. v. Poul Lindegård Hjorth. 1979. オウィディウスの『変身物語』のデンマーク語訳.
- *Relation om Grønland*. af Jens Bielke. v. Flemming Lundgreen-Nielsen. 1990. 『グリーンランドに関する報告』
- *Vincula Petri*. v. Johs. Brøndum-Nielsen. 1975. (1700 年頃のデンマークの学校喜劇)

3. 1. 12. 1700 年代のデンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra 1700-tallet*¹

- *Dansk Rigssprog - En beskrivelse fra 1700-tallet*. v. Caroline C. Henriksen. 1976. 『標準デンマーク語 — 1700 年代からの記述』
- *Fra Den Stundesløse til Gorm den Gamle. Maskinmesteroptegnelser fra Det kgl Teater 1782-1785*. v. Else Bojsen. 1982. 『ホルベアの「落ち着きのない人」から「老王 Gorm」まで. 王立劇場舞台部主任の記録 1782 年 - 1785 年』

3. 1. 13. 中世デンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra middelalderen*²

- *Den danske Rimkrønike*. Bind 1-3. v. Helge Toldberg. 1958 - 1961. 『デンマークの韻文形式の年代記』
- *Fragmenter af gammeldanske Haandskrifter*. v. Paul Diderichsen. 1931 - 1937. 『中世デンマーク語の写本の断片』
- *Karl Magnus Krønike*. v. Poul Lindegård Hjorth. 1960. 『Karl Magnus 年代記』
- *Kong Valdemars Jordebog*. Bind 1-3. v. Svend Aakjær. 1980. 『Valdemar 王の土地台帳』
- *Kvindens Rosengaard*. Hæfte 1-2. v. Holger M. Nielsen. 1930 - 1940. 『女たちのバラ園』
- *Sjælens og Kroppens Trætte og Ars moriendi*. v. Poul Lindegård Hjorth. 1971. 『精神と肉体の闘いと Ars moriendi (死ぬ芸術)』
- *Sjælens Trøst*. v. Niels Nielsen. 1937 - 1952. 『魂のなぐさめ』
- *Sydrak*. v. Gunnar Knudsen. 1921 - 1932. 『Sydrak (中世の通俗科学的著作, 一種の百科事典)』

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=12>

² <http://ujds.dk/katalog.php?katID=13>

3. 1. 14. 宗教改革時代のデンマーク文学作品 *Udgaver af dansk litteratur fra reformationstiden*¹

- *Danske Messebøger fra Reformationstiden*. v. S. H. Poulsen. 1959. 『宗教改革時代のミサ曲書』
- *En merckelig grundfest disputatz (1531)*. af Jens Peerszøn. v. Poul Andersen. 1952. 『著しくゆるぎない問答 (1531 年)』
- *En ny Psalmebog (1553)*. Bind 1-2. v. Niels Knud Andersen. 1983. 『新讃美歌集 (1553 年)』
- *Fem reformationsskrifter trykt af Hans Vingaard i Viborg 1528-30*. v. Peter Balslev-Clausen, Allan Karker og Erik Dal. Festschrift til Poul Lindegård Hjorth. 1987. 『1528 年から 1530 年に Viborg で Hans Vingaard によって印刷された 5 つの宗教改革書』 (Poul Lindegård Hjorth 記念論文集)
- *Ludwig Dietz' Salmebog 1536*. v. Niels Knud Andersen. 1972. 『Ludwig Dietz の讃美歌集 1536 年』
- *Æsops Levned og Fabler*. Bind 1-2. Chr. Pedersens Oversættelse. v. Bengt Holbek. 1961 - 1962. 『イソップの生涯と寓話』 (翻訳)

3. 1. 15. UjDS 研究シリーズ *UJDS-Studier*²

UjDS 研究シリーズでは、ルーン碑文から 21 世紀までの、デンマーク語とデンマーク文学に関わる様々なテーマの論文を出版している。

- *Alithia. Et dansk fyrstespejl til Christian IV. Manuskript i Det Kongelige Biblioteks Håndskriftsamling, Thott 874,4, fra 1597*. af Johann Damgaard. v. Sebastian Olden-Jørgensen. UJDS-Studier 14. 2003. 『Alithia. Christian 四世への王の鑑. 王立図書館写本コレクションの中の前稿, 1597 年の Thott 874,4』
- *Blik paa Poesiens Historie og Bernhard Severin Ingemann*. af N. F. S. Grundtvig. v. Flemming Lundgreen-Nielsen. 1985. 『詩作の歴史と Bernhard Severin Ingemann について』
- *Breve fra Jacob Paludan til Thorvald Petersen*. af Niels Stengaard. 1999. 『Jacob Paludan から Thorvald Petersen への書簡』
- *Den dobbelttydige patriot. Nytolkning af en politisk Johannes Ewald-komedie*. af Annelis Dam Jensen. 1984. 『二通りに解釈できる愛国者. Johannes Ewald の政治的喜劇の新解釈』

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=14>

² <http://ujds.dk/katalog.php?katID=15>

- *Fra Amerika til Danmark: på rejse gennem Jacob Paludans ungdomsromaner.* af Poul Houe. 1993. 『アメリカからデンマークへ. Jacob Paludan の青春小説を通しての旅で』
- *Georg Brandes og Goethe.* af Lars Peter Rømhild. 1995. 『Georg Brandes とゲーテ』
- *Johannes V. Jensens lange rejse.* af Poul Houe. 1996. 『Johannes V. Jensen の *Den lange Rejse* 『長い旅』』
- *Maltstenen.* af Karen Thuesen. 1990. 『Malt のルーン碑石』
- *Romanen der revnede. Elisabeth Hansen: "Dido og Don Pedro" (1821).* af Lotte Thrane. 1989. 『ひびの入った長編小説 Elisabeth Hansen の「Dido と Don Pedro」(1821 年)』
- *Sprogets fornuft. Om sproget i Ludvig Holbergs Moralske Tanker.* af Hans Hagedorn Thomsen. 1984. 『言語の理性. ルズヴィ・ホルベアの倫理的思考にみられる言語について』
- *Trods af Johannes V. Jensen.* Bind: 1. Sven Hakon Rossel. UJDS-studier 12. 2003. 『Johannes V. Jensen の「反抗」』
- *Udlængsel og hjemvé - personlighedsopfattelse hos Poul Møller og hans forgængere.* af Martin Paludan-Müller. 1987. 『遙かなところへのあこがれと郷愁. Poul Møller と彼の先人たちに見る人間観』
- *Øjet og blindheden i norrøn litteratur og mytologi.* af Annette Lassen. UJDS-Studier 13. 2003. 『古西ノルド文学と神話における目と盲目性』

3. 1. 16. 語彙集 *Vokabularier*¹

「16 世紀のデンマーク語の語彙集」“Det 16. århundredes danske vokabularier” シリーズはデンマーク語における最初の 6 つの辞典を収録しており、デンマーク語史にとって最も重要な文献である。

- *Vocabularium ad usum dacorum (1510).* af Christiern Pedersen. v. Inger Bom og Niels Haastrup. 1973. 『デンマーク人が使うための語彙集 (1510 年)』(ラテン語 - デンマーク語百科事典)
- *Hortulus synonymorum 1520.* af Henrik Smith. v. Inger Bom. 1975. 『同義語の園 (1520 年)』
- *Vocabularius rerum 1561.* af Jon Tursen. v. Jørgen Larsen. 1975. 『ものの名前辞典 (1561 年)』
- *Libellus vocum Latinarum 1563.* af Henrik Smith. v. Jørgen Larsen. 1991. 『ラテン

¹ <http://ujds.dk/katalog.php?katID=16>

語表現帖 (1563 年)』

- *Vocabulorum variorum expositio 1576*. af [Poul Nielsen]. v. Jørgen Larsen. 1995. 『様々な名称の解説 (1576 年)』
- *De nomenclaturis Romanis 1594*. af Mads Pors. v. Jørgen Larsen. 1995. 『ローマの術語について (1594 年)』

3. 2. インターネット版 *Danske Studier*

『デンマーク語研究』*Danske Studier* は今やインターネットで読むことができる「*Danske Studier* er nu tilgængeligt på internettet」というのが, sproget.dk のサイトが 2009 年 11 月 17 日付で発信したニュースの見出しである。¹

UjDS のサイトとは別に *Danske Studier* 独自のサイトがある。² 同ウェブページによると, *Danske Studier* の電子化および無料公開は研究・革新・高等教育省 (Ministeriet for Forskning, Innovation og Videregående Uddannelser) の下にある自由学術振興会/文化とコミュニケーション (Det Frie Forskningsråd | Kultur og Kommunikation: FKK) の補助金による。

同ウェブページには 1904 年の創刊号から 2011 年の号までの 106 冊³ と 1904 年～1965 年と 1966 年～2004 年の別冊総索引 2 冊の合計 108 冊がアップロードされており, pdf-ファイルでダウンロードできるようになっている。⁴ 新しく出版されるこれ以降の号は 1 年後にアップロードされることになっている。⁵

3. 2. 1. *Danske Studier* は文学研究誌?

デンマークの言語学者 Søren Brandt がかつて記した次のことばに筆者は大いに驚いた記憶がある。

The report was published in *Danske Studier* which does not belong to the mainstream of linguistics, being primarily devoted to literary studies, and it is ignored by some later authors.⁶

というのも, *Danske Studier* は筆者にとって学部生として 1975 年の「デンマーク語学演習」の授業以来, 慣れ親しんできた「デンマーク語学の研究誌」であ

¹ <http://sproget.dk/nyheder/201ddanske-studier201d-er-nu-tilgengeligt-pa-internettet>

² <http://danskestudier.dk/>

³ 1946 年と 1947 年が合本で 1 冊, 1949 年と 1950 年も同じく合本で 1 冊になっている。それにしても, 1940 年～1945 年のドイツ占領下にあっても毎年 1 冊ずつ出版されていることは驚異的で感銘を受ける。

⁴ 2013 年 3 月現在。

⁵ <http://danskestudier.dk/>

⁶ Brandt, Søren. 1999. *MODAL VERBS IN DANISH*. Travaux du Cercle Linguistique de Copenhague, vol. XXX, p.195. Copenhagen: C.A.Reitzel.

り、今現在も筆者が担当する「デンマーク言語ゼミ」で頻繁に用いているものだからである。Danske Studier には文学関係の論文や書評が多数掲載されていることは十分承知しているものの、デンマーク語学を研究するものが Danske Studier に目を通さないということがあり得るとは信じがたい思いがしたのである。確かに 1970 年に『新デンマーク語研究と一般コミュニケーション理論』Nydanske Studier og Almen kommunikationsteori (NyS) という新しいデンマーク語研究誌が創刊されたし、Søren Brandt の上記の言及があった 1999 年頃には他にいくつものデンマーク語研究誌があったのは事実であるが、それでも Danske Studier に目を通さないということは論外であろう。

他方、Søren Brandt の言うように、Danske Studier が主に文学を扱っているのであれば、筆者にとって理解しがたい別の現実がある。筆者の周りでデンマーク文学を研究している人たちが Danske Studier をあまり利用していないようなのである。試しにここ数年間のデンマーク文学の卒業論文を見ても、その参考文献に Danske Studier の文字を見ることはない。Danske Studier が扱っているのが新しい作家ではないことや内容が難解なことがあったとしても、無視して良いはずがないであろう。

4. おわりに

本報告書では DSL と UjDS の設立、活動、出版物、公開しているサイトなどについて見てきた。DSL はデンマーク語および文学研究のための協会であるが、地方法や古文書なども扱い、UjDS はデンマーク語研究のための協会であるが、文学、歴史、民俗学、文化、農業、漁業、海運業など非常に多岐にわたる情報を収集していることがわかった。当然のことではあろうが、デンマーク語に関する情報を収集するということは、デンマーク語で書かれたあらゆる情報を収集するということであり、ひいては、文学や歴史なども含むあらゆるジャンルの情報をも収集するということなのである。

余談ではあるが、これまで Danske Studier を文学や民俗学も扱うその性質から『デンマーク(学)研究』と訳す必要があると思っていたが、今回の調査で、UjDS の設立および Danske Studier の英訳 Studies in Danish¹ から、『デンマーク語研究』とすべきであることがわかったことは大きな収穫であった。

(2013 年 3 月)

¹ http://www.svenska.gu.se/digitalAssets/1270/1270341_ods.pdf